



子育て支援センター

「ひまわりのたね」だより

【問合せ先】子育て支援課 子育て支援係 ☎65・0081



梅野よしみ 保育士

「できるのよ、やって〜」 っていうよね

夏休み中は幼稚園の子どもが多く活気づき、里帰りなどもあり、幼稚園が違う子ども同士が「いっしょにあそぼう」「なまえは？」と話し始めよくあそびました。それを見て小さい子も刺激を受けた8月でした。もちろんプール遊びも満喫しました。

お母さんの会話で「できるのよ、やって〜っていうよね」と出ていました。食事・パンツやくつをはく時など、1〜2歳頃は「じぶんで！」とやりたがるけど3〜4歳頃になると、「やって〜」と言うことがあります。お母さんは「できるでしょう。自分でやって！」とひと言。子どもは仕方なくやるからグズグズ・・・弟や妹がいる子は特に下の子がやってもらっているのを見て、「甘えたい、ぼく・わたしを見て」の気持ちの表れでしょう。せつかくできるようになったのにといい思いもあるでしょうが、

できなくなることはありませんよ。子どもの気持ちを受け止めることも大切です。

「今日だけ特別ね。」と応えたところですが、お母さんの気持ちに余裕がないと、なかなかできませんね。おばあちゃんになると「小さい時だけだから、いっぱい甘えさせればよかった」の気分です。

子どもが安心して気持ちを出せる大人がたくさんいるといいと思いますね。ひまわりのたねで私たちがそのひとりになりたいと思うのです。



▲僕も私も来てますよ。(3カ月)



▲だるまさんは大人気!

子育て支援センター 「ひまわりのたね」

【開館】月～金曜日 9～16時

【場所】総合福祉センター
「ひまわりの里」内

【対象】0歳から未就学の子
もとその保護者

※利用には保護者の付き添い
が必要です

【利用料】無料